

2-B-7. 輸入家電品入り40ft海上コンテナドレージ輸送の トレーラトラックから鉄道への切替え

＜(株)日立物流＞

1. 概 要

シフトした輸送機関	トラック ⇒ 鉄道
輸送ルート	東京品川区 → 栃木県宇都宮市
主な対象貨物	家電製品
導入時期	2003 年 3 月
月間取扱貨物量	3,600 トン／月
荷姿	段ボール箱
出荷頻度	ほぼ毎日

2. 背景（実施理由、狙い、導入の経緯）

1) 実施理由

- ・ 環境問題への対応

2) 狙い

- ・ 生産の海外シフトにより増大する、40ft 海上コンテナドレージ輸送にかかわるCO2 排出量を削減するため、JR 貨物の 40ft 海上コンテナ対応貨車を利用したドレージを実施した。

3) 導入の経緯

- ・ 東京貨物ターミナル駅←→宇都宮ターミナル駅間に 40ft 海コン対応コンテナ列車が運行されており、両駅に 40ft 海コン荷役設備機器があったこと。
- ・ 宇都宮貨物ターミナル駅←→物流センター間（片道 20km）のトレーラトラック輸送を、陸送トレーラトラックの空時間活用等により、ドライバーの待ち時間なしに運行できるよう、物流センター側の体制を整えた。
- ・ 当該区間には、月平均 320 基の 40ft 海上コンテナのトレーラトラックによるドレージが行われていたが、このうち 240 基を鉄道輸送に切り替えた。

3. 対策効果

項 目	対 策 効 果 (実施前を 100 とした場合の実施後の数値: 実施後／実施前×100)
トラック使用台数の対策効果	75%
トラック台キロの対策効果	66%削減
燃料使用量(又はCO2 排出量)の対策効果	75% (100トン／月)

4. 事業内容

